

と おかまち

Public Relations

市報



2017 / 10

平成29年 2月10日号

No.285



冬將軍に立ち向かう冬まつり

松代地域特集
越後まつだいの陣

その他の主な内容

ピックアップニュース		連載コーナー②	
6	越後妻有 雪花火	13	キラメキワーカース
8	健康保険(保険証)についてのお知らせ	14	お知らせ・ガイド
連載コーナー①		連載コーナー③	
9	地元サポーター通信/とおかまちメニューの日	18	熱中・夢中/おらほのたから
10	タウンピックアップ	20	ジュニア芸術祭

冬の陣の
見所
その①

「のっこれ! 松代城」

冬の陣のメインイベントである「のっこれ! 松代城」は、全長約3キロメートルの雪上コースを走破し、城山の頂上にある松代城を目指す雪中鉄人レースです。このコースの最大標高差は約200メートルもあり、さらに「馬落とし」「騎馬止め」など松代城を守る要害が複数配置されていて、レースは「城攻め」の様相となります。

見事1着で松代城に入城した選手は、1年間松代城主となり、米一石(150kg)の褒美が与えられます。上位入賞者の褒美のほかにもうれしい刑罰が用意されていて、完走者の中から「遠島の刑(ハワイ旅行)」「釜茹での刑(まつだい芝峠温泉雲海宿泊券)」などが表彰式で抽選されます。

仮装部門も用意されており、仮装とステージパフォーマンスが最も優れている参加者には、「大歌舞伎者おおかぶきもの」として、賞品が与えられます。



第30回
記念開催

松代地域特集 越後まつだい冬の陣

冬将軍に立ち向かう冬まつり



■問合せ=松代支所地域振興課
☎597-2220



見ても楽しめるイベント、皆さんの応援をお願いします

第1回の「のっこれ! 松代城」を振り返り、印象的だったのはコースの作りです。松代城までの急こう配の道に、山あり谷ありのいろいろな障害物があり、「よくこんなコースを作ったな」と感心しながら走ったことを覚えています。特に大変だったのは最後の登り坂です。疲れ果てていましたが、そこで1位に躍り出ることができました。



「のっこれ! 松代城」初代城主
山賀 健一郎さん
(松代・50歳)

知人の誘いで参加したので、まさか自分が優勝できるとは思っていませんでした。以後30年と続く歴史あるイベントの初代城主となれたことは、とても光栄です。今年も、歴代城主として招待を受けたので、本番に向けて体調を整えています。

また、「のっこれ! 松代城」は1着を競うだけでなく、抽選でももらえる褒美や参加者の仮装も楽しみのひとつです。ぜひ、多くの皆さんから来場していただき、松代の魅力を感じながら戦士たちへの応援をお願いします。

~30年の歩み~

- 1988年(昭和63)第1回 越後まつだい冬の陣を初開催
- 1990年(平成2)第3回 雪上神輿「活き! 生き! 合戦」が始まる
- 1991年(平成3)第4回 第1回AAC地域イベント優秀賞を受賞
- 1996年(平成8)第9回 第5回地域活性化大賞を受賞
- 1997年(平成9)第10回 10回記念・ほくほく線開業記念開催。信州真田鉄砲隊・大阪堺鉄砲愛好会・遠州三ヶ日町手筒花火保存会・群馬甲冑愛好会・謙信公祭実行委員会・六日町坂戸城五十騎衆が参上
- 1999年(平成11)第12回 「のっこれ! 松代城」が日本マラソン百選に選定される
- 2002年(平成14)第15回 群馬甲冑愛好会が参上
- 2005年(平成17)第18回 松代町制50周年記念開催。松代町最後の開催
- 2006年(平成18)第19回 新十日町市誕生記念開催
- 2007年(平成19)第20回 20回記念開催
- 2011年(平成23)第24回 東日本大震災により中止
- 2013年(平成25)第26回 冬将軍の暴挙により天候大荒れ、「のっこれ! 松代城」は中止

雪上でさまざまな催しを行う、松代地域の冬の一大イベント「越後まつだい冬の陣」今年で30回となる記念回を迎え、さまざまな企画を準備しています。恒例の「のっこれ! 松代城」など、冬の陣の見どころを関係者の声を交えて紹介します。

越後まつだい冬の陣とは?
日本でも有数の豪雪地であることを逆手にとり、雪を活用した町おこしを目的に始まったイベントです。加えて戦国時代の上杉家とも縁のある松代地域の山城の文化を結びつけた、春を呼ぶ冬まつりです。

第30回記念 越後まつだい冬の陣 主な催し

3月11日(土) 正午～午後9時

- 開幕大行進
- 開幕式
- 松代中学校ブラスバンド演奏
- 開幕よさこい雪上演舞
- 雪上宝引き会
- 越後松代幕府出陣式
- まげよさんよ「30回特別企画」
- 鳥追い
- ぼんぼさま
- 雪上神輿「生き！生き！合戦」
- 雪中大花火大会

※ 食い倒れ横町の営業時間は11日(土)正午～午後8時30分、12日(日)午前9時～午後3時
※ 天候および諸事情により変更になることがあります

3月12日(日) 午前9時～午後3時30分

- 出陣舞踊会
- 雪中鉄人レース「のっつれ！松代城」
- 出陣歌謡祭 (BSN特別公開録音)
- 戦士凱旋
- 「のっつれ！松代城」表彰式、抽選会
- 閉幕式



出陣歌謡祭

BSNラジオによるステージでの特別公開録音です。

12日(日) 午後0時50分～2時10分 (予定)

ゲスト



さくらまや



中澤卓也



第30回特別企画 「熱気球試乗体験」

11日(土)正午～午後4時
12日(日)午前9時～午後0時30分
熱気球に乗り、上空から松代地域を見下ろすことができます。
¥1,000円、小学生500円(予定)
※天候により時間の変更または、中止することがあります

今年の越後まつだいの冬の陣では、恒例の催しのほか、30回記念として特別企画が加わります。
熱気球の試乗体験ができるほか、「のっつれ！松代城」には、特別参加として外国人枠と歴代城主が招待されて参加します。また、将軍たちが観客に向けて福餅を撒く「まげよさんよ」には、景品と交換できる当たりくじが入っています。



越後松代幕府副将軍
(越後まつだい冬の陣実行委員会)
中村 昭次さん
(松代・80歳)

皆さんと一緒に楽しみ、盛り上げたい
越後まつだいの冬の陣は、住民だけでなく、東京都世田谷区や東京松代会の皆さんなど、地域とご縁のある人たちも各地から多く集まり、交流する場でもあります。また、周年ごとの記念開催などでは、その都度さまざまな企画を実施しており、なかでも第10回のほくほく線開業記念開催では、全国各地から集まった鉄砲隊による迫力ある実演が多くの人を興奮させました。
今回の30回記念開催では、「のっつれ！松代城」に外国人参加枠を設けるなど、インバウンドも視野に入れながら、さらに交流の幅を広げたいと考えています。
こうした地域主体のイベントは、参加する人だけでなく主催者も楽しみ、盛り上げなければ長続きしません。地域の皆さんで知恵を出し合い、この先も、もっと良い「冬の陣」を作り上げていきたいです。

冬の陣の見所 その2

雪上神輿「生き！生き！合戦」

冬の陣1日目の最後のイベントは、雪上神輿「生き！生き！合戦」です。このイベントに使われる神輿の多くは手作りとなっていて、神輿の完成度と、担ぎ手の活気を競います。審査員投票によって、完成度の高さを認められた神輿には「手作り部門賞」、神輿合戦で最も活気が感じられたチームには「生き生き部門賞」が与えられます。2つの評価を総合し、最も優れていたチームは「総合優勝」となり、各賞それぞれ賞金が贈られます。

日が落ち、ライトアップされた雪原で跳ねる神輿は迫力があり、観客の心を躍らせます。神輿合戦から雪中大花火大会につながり、雪原も夜空も熱気に包まれ、1日目のフィナーレとなります。



冬の陣の見所 その3

「食い倒れ横町」

市内のお店や団体など約30店が出店。お祭り定番の味と、地元の食を楽しめるお店が軒を連ね、来場者やステージの出演者、「のっつれ！松代城」の出場戦士たちのお腹を満たしてくれます。射的などの遊びや甘味の販売もあるので、子どもから大人まで楽しむことができます。



花火と光のアートで彩る、雪の夜、一瞬の光芒

越後妻有雪花火

Gift for Frozen Village 2017

越後妻有の長い冬の終わりを彩る「越後妻有 雪花火」。第4回目を迎える今回は、会場をあてま高原リゾートベルナティオに移し、開催します。雪花火としては世界最大級の三尺玉に加え、今年も雪原に光の花畑を作り上げる高橋匡太のアート作品が展開。地元食材を活用した屋台も並びます。頭上で花開く大迫力の花火とその光に反射する雪原の美しい世界をぜひ会場で見守ってください。

日 3月4日(土) 屋台 午後5時～、高橋匡太作品 午後5時30分～8時、雪花火 午後7時～数分間
 会 えてま高原リゾートベルナティオ
 ￥1500円・小中学生500円
 ※天候により、花火の打ち上げを中止することがあります
 ※光の花畑を制作するサポーターを募集します。詳しくは9ページをご覧ください



地元食材を使った料理が食べられる屋台で心も体もぽかぽか



日中はベルナティオのスノーアクティビティも楽しめます ※別途料金必要



毎年大好評の高橋匡太アート作品「Gift for Frozen Village 2017」

会場へは無料シャトルバスを利用してください

会場には一般車両の入場ができません。また、会場周辺に駐車場はありません。必ず無料シャトルバスを利用してください。会場付近への送迎もご遠慮ください。



- 会場行き
- 花火打ち上げ間際に到着するシャトルバスはかなりの混雑が予想されます。時間に余裕を持って乗車してください。午後4時より早い時間に到着する便の利用をおすすめします
 - 時刻はあくまでも目安です。道路状況などにより変動しますので、ご了承ください

【キナーレ発⇒十日町駅西口⇒十日町市役所⇒十日町地域振興局⇒ベルナティオ】

臨時駐車場：キナーレ、立正佼成会十日町教会、十日町市役所、十日町税務署、十日町地域振興局、建設会館

停留所	始発時刻	最終時刻
キナーレ	13:00	18:00
十日町駅西口	13:05	18:05
十日町市役所	13:10	18:10
地域振興局	13:15	18:15
ベルナティオ	13:45	18:45

～以降、10分おきに出発～

【青果市場発⇒JA十日町本店⇒水沢公民館⇒水沢駅前バス停⇒ベルナティオ】

臨時駐車場：青果市場、JA十日町本店、JA十日町吉田支店（水沢公民館・水沢駅前バス停には臨時駐車場はありません）

停留所	始発時刻	最終時刻
青果市場	14:00	18:00
JA十日町本店	14:05	18:05
水沢公民館	14:20	18:20
水沢駅前バス停	14:30	18:30
ベルナティオ	14:45	18:45

～以降、10分おきに出発～

【ミオンなかさと発⇒なかさとアリーナ⇒中里支所⇒ベルナティオ】

臨時駐車場：ミオンなかさと、なかさとアリーナ、中里支所周辺

停留所	始発時刻	最終時刻
ミオンなかさと	13:00	18:00
なかさとアリーナ	13:10	18:10
中里支所前	13:15	18:15
ベルナティオ	13:35	18:35

～以降、10分おきに出発～

※シャトルバス発着場付近の臨時駐車場には限りがあります。公共交通機関の利用をおすすめします

会場発 (帰りのバス)

- 花火打ち上げ終了後、満車になり次第順次発車します



撮影 花火.Collection

問合せ
 観光交流課芸術祭企画係
 ☎ 757-2637



Photo by Osamu Nakamura



光の花畑を制作する 一般サポーター大募集

3月4日(土) 越後妻有 雪花火/Gift for Frozen Village 2017

開催日の約1週間前から準備を始め、当日は約2万個の“光の種”を雪原に植えて光の花畑を出現させます。地元サポーターと一緒に心温まる感動を共有しませんか。家族・友人でぜひ参加してください。

●活動日時＝2月26日(日)～3月4日(土)
午前9時～午後5時30分ごろ

会 えてま高原リゾートベルナティオ (珠川)

●作業内容＝①2月26日(日)～3月3日(金)：雪踏み・道付け、②3月4日(土)：光の種植え

他詳細は参加者へお知らせします

☑①2月20日(月)、②2月27日(月)

☑所定の申込書をFAXまたは持参で観光交流課へ ☎757-2285

※必要事項の記載があればメールでの申し込み可
(t-kanko@city.tokamachi.lg.jp)

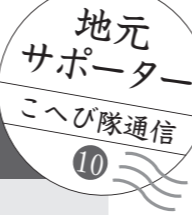
※申込書は大地の芸術祭の里公式ホームページや市ホームページでダウンロードできるほか、市総合観光案内所に設置しています

サポーター登録してなくても、1日だけでも参加できます。

みんなで植えた“光の種”が、夕間とともに花畑に変わる瞬間は感動的！



Photo by Osamu Nakamura



■問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637

健康保険（保険証）についてのお知らせ



知っていますか？ 柔道整復師（整骨院・接骨院）のかかり方

●●●●●問合せ：市民生活課国保年金係 ☎757-3735



保険の対象とならないもの
(全額自己負担)

- 日常生活の中の疲れや体調不良・肩こり
- スポーツなどによる肉体疲労
- 病気（神経痛・リウマチ・関節炎・ヘルニアなど）による痛み
- 加齢による腰痛や五十肩などの痛み
- 脳疾患後遺症などの慢性病、症状が改善しない長期の施術
- 同じ傷病で別の保険医療機関（病院・診療所ほか）で治療中のとき



保険の対象となるもの
(一部自己負担あり)

- 骨折、脱臼（医師の同意書が必要）
- 応急手当のときは不要
- 急性などの外傷性の捻挫・打撲・挫傷（肉離れなど）

整骨院や接骨院などの柔道整復師の施術には、健康保険（保険証）の対象となるものが決められています。負傷原因によっては対象とならないことがあるので、施術を受けるときは負傷原因を正確に伝え、受診してください。

柔道整復師の施術を受けるときのポイント

1 負傷原因を正確に伝える

負傷が外傷性でないとき、労働災害・通勤災害による場合は、健康保険が使えません。いつ・どこで・何をして・どんな症状かを、柔道整復師に正確に伝えてください。

※交通事故などで受傷し施術を受けるときは、市民生活課国保年金係に被害届を提出してください

2 「柔道整復施術療養費支給申請書」は内容を確認し原則自分で署名または捺印する

この申請書は、受療者が柔道整復師に療養費の申請を委任し、本人に代わって市国民健康保険や県後期高齢者医療広域連合から保険給付分の療養費の支払を受けるための書類です。記載内容（原因・傷病名・日数・金額）をよく確認し、署名・捺印してください。

3 施術が長期間にわたるときは医師に相談する

症状の改善がみられないときは、原因が病気によること（内科的要因）も考えられますので、医師の診断を受けてください。

4 領収証は必ずもらう

平成22年9月の施術分から、領収証（保険分合計および一部負担金、保険外金額の内訳が分かるもの）の無料発行が義務化されました。市民生活課国保年金係から送付する「医療費のお知らせ」とあわせて、内容を確認してください。医療費控除にも使えます。

5 治療内容の照会について

確認のため、市から治療内容を照会することがあります。前項の領収証に負傷部位・施術内容・施術年月日などを記録し、保管しておいてください。

1月のクローズアップ食材「城之古菜」

明治末期から大正初期のころ、現在の南魚沼市の「大崎菜」の種を譲り受けて栽培が始まりました。寒さに強く、畑が雪で覆われてしまう時期にビニールハウスの中で栽培します。寒さによって増す甘味とほのかな苦味のバランスが特徴です。

■生産者
小林 利夫さん
(城之古1)

「おいしい城之古菜をいっぱい食べて、元気に運動も勉強もがんばってほしいです」と話してくれました。



交流給食「田沢小学校」

生産者の小林さんと6年生の児童と一緒に給食を食べました。児童からは、「仕事のやりがいは何ですか」。など質問があり、小林さんは丁寧に答えていました。

～地域と学校を結ぶ給食～

とおかまちメニューの日

9

問合せ：学校教育課 ☎757-9957

1月の献立（田沢小学校）

- ・くるまぶ
- ・車麩の揚げ煮
- ・城之古菜ののりマヨあえ
- ・のっぺい汁
- ・ご飯
- ・牛乳



新婚夫婦を奇祭でお祝い「むこ投げ・すみ塗り」

1月15日(日)：松之山温泉薬師堂

松之山温泉に伝わる奇祭、むこ投げ・すみ塗り。当初は小雪で開催が危ぶまれていましたが、寒波の影響で一気に増した積雪のなか無事に開催されました。

今年の主役は、公募で選ばれた埼玉県在住の笠井将嗣さん・清美さん夫妻。将嗣さんが薬師堂から投げ出されると降り積もったばかりの粉雪に包まれながら、清美さんのもとへ一気に転がりました。将嗣さんは「未体験の世界で興奮しました。夫婦で助け合いながら良い家庭を築いていきたいです」と感想を話していました。むこ投げの後にはすみ塗りが行われ、だれかれとなくお互いの顔に塗り合い、お祭りが終わるころには全員が真っ黒な顔になっていました。



左から遠田さん、ノータさん、バレンチージさん、品田さん

十日町とコモをつなぐ若者が交換留学で交流

12月21日(水)～1月4日(水)：イタリア・コモ市

姉妹都市イタリア・コモ市との青少年交換留学事業が11年目を迎えています。今回は、遠田観月さん（川治上町2・埼玉大学大学院1年）と品田梢さん（松代・城西国際大学1年）の2人が、今年の夏に来市予定のノータ・マッテオさんとバレンチージ・クリスティアンさん宅にそれぞれ2週間ホームステイしました。

【遠田観月さんのレポート】

コモ市での滞在を通じて、食事様式・礼儀作法・宗教に対する認識など、さまざまな点で日本とイタリアの文化の違いを見つけることができました。また、ホストファミリーにはたくさんの場所に連れて行ってもらい、日本では体験できない素晴らしい経験をすることができました。

【品田梢さんのレポート】

交換留学での生活は初体験の毎日で、多くのことを実際に見聞きして知ることができました。ホームステイ先のクリスティアンさんは、日本にとっても興味を持っており、私よりも日本のことを知っていました。次は私が、両市の橋渡しとして十日町市の魅力を伝えたいです。



未来を担う人材を地元へ輩出するために

1月11日(水)：県立十日町高校

県立十日町高校では、進学や就職を控える3年生を対象に、初めての試みとして12月から1月にかけて、特別授業を行いました。この日は市役所職員が講師となり、市が進めている3つの政策について担当職員が講演。このうち「地域おこし協力隊による地域おこし」では、飛渡地区で活動している安藤直人隊員も参加し、地区の課題とその解決策、将来の展望などを説明しました。講演を聞いた岡村海さんと渡辺聖奈さんは、「とてもためになりました。十日町市には、誇れる魅力や可能性がたくさんあることがわかりました」と感想を語りました。

3学年主任の吉楽雅典教諭は「今、学校がしなければならないのは人材を流出させることでなく、地元を誇りに思いその地元へ人材を輩出することだと考えています。今後もこのような取り組みを継続していきたいです」と話してくれました。

横綱を目指して勝敗予想 松代大相撲

1月22日(日)：まつだいふるさと会館



大相撲初場所の幕内の取組結果を予想し、的中した数を競う松代地域の冬の風物詩、「松代大相撲」が今年も開催されました。会社や団体など7つの部屋から計214人の力士が参加し、横綱（最多得点）を目指して15日間にわたって行われました。

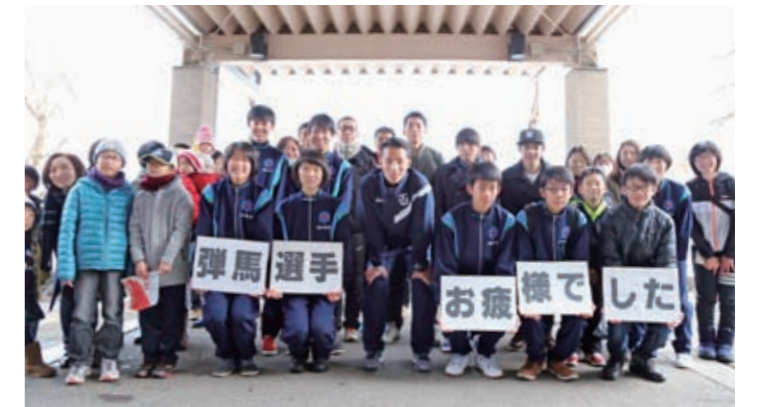
千秋楽には、上位力士の表彰や弓取り式などの行事が行われ、東西横綱の土俵入りでは会場が大きく沸きました。150点満点中99点で東横綱となった松代支所部屋の直三国直樹関は「横綱になるとは思っていませんでした。土俵入りは緊張しました」と感想を話しました。

十日町市から世界へ さらなる飛躍に期待

1月8日(日)：十日町市役所

今年の箱根駅伝に出場し、1区で区間賞を獲得した服部弾馬選手（東洋大学4年・中里中出身）が市役所を訪れ、成績報告を行いました。服部選手は、「次の目標として、トラック種目5,000メートルで今年の世界陸上への出場を目指します。しっかりと練習して、東京オリンピックにつながる走りができればと考えているので、応援よろしくお願ひします」と今後の抱負を力強く話してくれました。

4月から実業団のトーエネックに進み、競技を続ける服部選手。マラソンでのオリンピック出場を目指す兄の服部勇馬選手（トヨタ自動車所属・中里中出身）との、兄弟でのさらなる飛躍が期待されます。



子どもたちの言葉で呼び掛ける いじめ防止標語

12月8日(木)：田沢小学校



中里地区自治防犯協会の呼びかけにより、田沢小学校の5年生が「いじめ防止標語」を作りました。出そろった作品から、優秀作品を選定。特賞に選ばれた3人の作品（下記）は、いじめ防止の意識向上のため、ポスターとして市内の小・中学校などに掲示されています。

【特賞標語】

- 『人生が いじめで終わるの 悲しいよ
あなただよ 私の心を きずつけたの』
石澤 槇花
- 『私じゃない 見て見ぬふりも いじめてる』
長井 ひなた
- 『悪口も もちろんりっぱな いじめだよ』
渡邊 侑耶



徳永 康介さん (高田町2・28歳)

市内の高校を卒業し、東京の大学に進む。卒業してから、建設業を営む実家を手伝った後に入社。現在2年目。

若者×若者
キラメキワーカーズ
語る 仕事・会社・十日町市への思い

十日町市の仕事人

■問合せ
産業政策課
☎757-3139



小野塚 竜也さん (東川・28歳)

市内の高校を卒業し、新潟市の専門学校で土木・建設について学ぶ。その後入社して、現在7年目。

徳永さん—大学では経済学を学んだので、今の仕事は全く知識が無い中のスタートでした。毎日が勉強の連続で苦労もありますが、「地図に残る」仕事ですので、責任とやりがいを持って働いています。小野塚さん—専門学校で測量などを学びましたが、実際に働いてみると全く通用せず、現場の厳しさを知りました。しかし、周りの皆さんに助けていただき、発注者とともに仕事を終えたときは、それまでの苦労を吹き飛ばすほどの達成感が味わえます。

や
りがいと達成感を味わえる「地図に残る仕事」

小野塚さん—父が建設業の仕事をしていることから、同じ道を志しました。お世話になった地元で、皆さんの役に立てる仕事をしたいと考え、十日町市に戻ってきました。徳永さん—私の父も建設業を営んでおり、地域に貢献したいとの思いから、この仕事を選びました。一度は地元を離れましたが、十日町市の豊かな自然と四季が大好きで、ここで働くことに決めました。

父
の背中を追い、同じ道を選んだ

小野塚さん—父が建設業の仕事をしていることから、同じ道を志しました。お世話になった地元で、皆さんの役に立てる仕事をしたいと考え、十日町市に戻ってきました。

経
験を重ねた先に、目指す未来の自分がある

成感が味わえます。

徳永さん—私たちの仕事は、経験が自分の実力に直結します。チャレンジ精神を持って、多くのことを経験し、リーダーシップを発揮できる技術者になりたいです。小野塚さん—私も幅広く経験を積み、自分を磨いていきたいです。発注者から安心して任せられるような技術者になれるように、努力していきます。

協力
企業

■株式会社 丸山工務所



- ・土木・建築工事での公共工事を中心に施工管理(マネジメント)する総合建設業
- ・従業員65人
- ・十日町市稲葉
- ・☎757-8125
- ・経営理念の「街にゆとりとうるおいを」を目指し、安全で安心な街づくりを目指しています

世界で一つ、伝統の和紙でつくる卒業証書

1月17日(火): 旧孟地小学校



松代小学校の6年生が、伊沢地区の伝統工芸である「伊沢和紙」づくりに取り組みました。かつて孟地小学校で行われていた恒例行事でしたが、現在は、松代小学校に引き継がれています。原料となる「こうぞ」の刈り取りから自分たちの手で行い、完成した和紙は卒業証書となって児童に渡されます。参加した坂井結さんは、「「こうぞ」の皮むきが大変でした。紙漉きがうまくいったか心配ですが、出来上がりが楽しみです」と話してくれました。



中手集落パネル展「7世帯の集落でもできること」

1月27日(金)~29日(日): 十じろう

中手集落では、過疎・高齢化が進んだムラを活気づけるため、出身者や地域おこし協力隊などと連携しながら、さまざまなことに取り組んでいます。この地域づくりの活動を紹介する、パネル展が開催されました。



28日(土)には、特別イベントとして「情熱の村おこし」と題した市内フラメンコグループ「ソイ・ヒターナ」の演舞や、中手地域づくり事業歌「愛しの中っ手」の発表がありました。当日は、住民や出身者などを中心に約70人が来場。「愛しの中っ手」を編曲した保坂清さん(下川手・70歳)の歌唱指導を受けながら、参加者が一体となり合唱しました。

作詞に携わった江村義次さん(埼玉県・67歳)は、「自分は集落を出た人間ですが、何かお手伝いできればと思い、詞の素案を書かせてもらいました。これからは陰ながら盛り上げていきたいです」と話していました。



五穀豊穣を願って

1月28日(土): 大白倉

大白倉集落に伝わる小正月行事「バイトウ」が、今年は小雪のため、2週間遅れで開催されました。



ケヤキやワラを材料に、2日間かけて建てられた小屋「バイトウ」。これに火をつけて、立ち上る炎でその年の無病息災と五穀豊穣を願います。高々とまっすぐに上がる炎を確認した実行委員長の中村庄平さん(64歳)は、「今年も必ず五穀豊穣になる」と宣言し、参加者全員で成功をよろこびました。

ようこそ雪国へ 南国沖縄との児童の交流

1月19日(木)~22日(日): 中里地域

旧中里村と沖縄県仲里村(現久米島町)は、同じ村名が縁で夏と冬にそれぞれの児童がホームステイするなどの交流事業が続いています。今年も久米島町の5年生14人が中里地域を訪れました。久米島町の児童は寒さに驚きながらも、雪合戦やスキーなど、雪国ならではの体験を通して、中里地域の児童との交流を深めました。



3泊4日のホームステイで友情を深めた児童たちは、夏の再会を約束し合っていました。

「森の学校」キョロ口企画展 発信! わたしたちの地域自慢

「森の学校」キョロ口では市内の小学生が1年間に学んだ市の自然・農業・文化を資料としてまとめ、発信する企画展を開催中です。子どもたちの視点から感じた市の魅力を多岐にわたって展示しています。ぜひ地域の魅力を再発見してみませんか。

●会期=7月中旬まで※会期中に展示内容の入れ替えを予定
会・問「森の学校」キョロ口 (☎595-8311)



定 先着20人
持 エプロン・三角巾・マスク
他 みそ5kgを持ち帰り
× 2月24日(金)
申 ・岡農林課農業企画係 (☎757-3120)

県立歴史博物館 冬季企画展
「すてきな布ーアングリ
研究100年ー」

日 3月20日(春分の日) 午前9時30分〜午後5時まで
※観覧券販売は4時30分まで
休 月曜日※3月20日は開館
¥ 610円、高校・大学生400円、中学生以下無料

内 アンギン研究の歩みを、わかりやすく紹介します。また、制作技術の失われていたアングリを復元し、その魅力を伝えます

会 ・岡新潟県立歴史博物館 (☎0258-47-6130)



第29回雪原カーニバルなかさと「ひと雪あかりコンテスト」参加者募集

雪あかりの美しさを競う雪灯籠を作りませんか。

職員募集
十日町市放課後児童クラブ指導員(臨時職員)

●募集人数 4人
●選考方法 書類選考・面接
●任用期間 4月1日〜平成30年3月31日※次年度への更新の可能性あり
●勤務時間 月々金曜日午後2時〜6時30分、土曜日・学校休業日は午前7時30分

日 3月11日(土)午後1時〜7時
会 なかさと清津スキー場
定 15チーム(各チーム5人まで)

●表彰 最優秀賞・賞金3万円、優秀賞・賞金2万円、アイデア賞など1万円
持 道具は各自で用意※機械工具有は不可
他 雪とキャンドルのみで制作(風が吹いても消えないデザイン)・1・8メートル×1・8メートル(1坪)内に収まるもの※題材は自由

× 2月28日(火)
問 雪原カーニバルなかさと実行委員会・雪あかり班 (☎763-2511)

なかさと清津案内人募集

清津峡でガイドボランティア活動をしませんか。研修会があるので初めての人も安心です。

日 5月上旬〜11月中旬(予定)
午前9時〜正午・午後1時〜4時(都合の良い日時で活動できます)

●活動場所 清津峡・清津峡溪谷トンネル
他 活動後は中里地域の共通入浴券と清津峡温泉街の500円食事券を進呈
× 3月31日(金)
申 ・岡十日町市観光協会中里支部 (☎763-3168)

勤務地 面接時に相談
賃金 時給840円※保育士・教員免許などの有資格者は900円
●加入保険 雇用保険・労災保険※通勤手当あり
申 ハローワーク十日町 (☎757-2407)
問 子育て支援課 (☎757-3719)

受講生募集 在職者訓練

【建築CAD製図3(RC造の平面図作成)】
日 3月4日(土)・3月5日(日) 午前9時〜午後4時
定 10人
内 JW-CADを使って、RC造住宅の平面図作成
持 高校生から始めるJW-CAD建築製図入門(RC造)

平成29年3月入校生募集
パソコン経理事務科

日 3月24日(金)〜7月21日(金) 午前9時40分〜午後4時10分
会 十日町パソコンカレッジ
対 就職を希望し、パソコンおよび簿記・電子会計の知識・技能を習得したい人
¥ 無料※テキスト代・受講料など自己負担あり
定 14人
× 3月2日(休)
申 ハローワーク十日町 (☎757-2407)
問 県立魚沼テクノスクール (魚沼市・☎794-2410)

わんわん運動会in雪まつり

愛犬と一緒にゲームをしながら雪上を駆け回ってみませんか。※荒天時は事業を縮小
日 2月19日(日)午前10時〜午後1時30分※受付9時〜
会 十日町雪まつり・つまり広場(川治地内)
¥ 犬1頭につき千円※事前申込み不要
他 動物愛護協会への加入も受け付けます(賛助会員千円・一般会員2千円)
問 十日町保健所衛生環境課 (☎757-2707)

平成28年度情報館主催
第3期コンピュータ講習

【町内役員お助けコース】

定 先着18人※5人以下は中止することあり
申 ・岡電話やFAXなどで①希望のコース②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号を西本町2情報館へ(☎750-5100、F750-5103)

日 2月21日(火)〜3月24日(金) 毎週火・金曜日午後3時〜4時30分(10回)
対 ワード・エクセルを初めて使う人
¥ 7500円

内 案内文書の作成・画像や図形を文書内に入れる・エクセルで基本となる計算や請求書の作成

【画像編集コース】
日 3月2日(木)〜30日(木)の毎週木曜日午後7時〜9時(5回)
対 ワードやエクセルで画像を使ったことがある人
¥ 5千円

内 画像の色調整や複数の画像を1枚に合成する方法(共通)

定 先着18人※5人以下は中止することあり
申 ・岡電話やFAXなどで①希望のコース②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号を西本町2情報館へ(☎750-5100、F750-5103)

認知症の人と家族の集い
介護予防講演会

日 2月22日(水)午前10時〜正午
会 中里支所
内 介護者のためのリフレッシュ講演会(予定)
講 宮澤一夫さん(十日町病院リハビリテーション科)
申 ・岡きらら会々長・坂野(☎788-0731)、十日町南地域包括支援センター(☎758-2324)

冬だから味噌仕込もう!

家庭でできる味噌の仕込み方と、味噌を使ったレシピの料理教室です。

日 2月23日(木)午後1時30分〜
会 千手中央コミュニティセンター
¥ 2千円
問 まるっとりんく・春日(☎090-4939-7967)

高年齢者求人説明会

採用を予定している事業所担当者(5社)が仕事内容などを説明します。

日 2月24日(金)午後1時30分〜

3時30分
対 概ね55歳以上の求職者
会 ・岡ハローワーク十日町 (☎757-2407)

ロケットくれよん
あそびうたライブ

子どもと一緒に体を動かして遊びましょう。

日 2月26日(日)午前10時30分〜正午
会 ラポート十日町
対 2歳以上の子どもと保護者
定 80人※要事前申込
持 動きやすい服装・内履き
他 CD販売・サイン会を予定
申 ・岡中央公民館 (☎757-5011、F757-5010)

サービス付き高齢者向け住宅 ヴィラあかし

特定施設入居者生活介護

平成29年4月1日(土)オープン予定 (十日町市川治4525番地 特養まほろばの里川治と同敷地)

「ヴィラあかし」は60歳以上の方がお住まいになれる「住宅」です。自立の方や要支援の方はもちろん、日常生活のうえで介護が必要な状態の方も安心してお住まいいただけます。「特定施設入居者生活介護(介護保険上のサービス)をご契約いただくことにより、食事、排泄、入浴等に必要なお介助を受けて暮らすことが可能です。

入居相談受付中
問合せ先: 社会福祉法人苗場福祉会 総務部内 開設準備担当 ☎025-761-7400 (担当名:中澤・根津)

会・申・ 県立魚沼テクノス
クール（魚沼市・☎025
―794―2410）

受講生募集
上越テクノスクール在職者
訓練（技能向上コース）

【溶接検定準備コース・4】

日 3月21日(火)・22日(水)午前9
時〜午後4時

対 溶接の実務経験が3か月以
上ある人

¥ 39000円

定 10人※超えたときは抽選

内 受験に向けた実技講習

☒ 3月7日(火)

会・申・ 県立上越テクノス
クール（上越市・☎025
―545―2190）

新潟ののちの電話相談員募集

対 1年間の養成講座ののち相
談対応ができる23歳〜66歳
の人

☒ 2月28日(火)※必着

申・ 問 「新潟ののちの電話」
事務局（☎025―280
―5677）

放送大学4月生募集

放送大学はテレビ・ラジオ・

進し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

**魚沼圏域
高次脳機能障害者
家族のつどい**

家族同士で日頃の悩みや思
いを語り合いませんか。

日 3月6日(月)午後1時30分〜
3時

対 高次脳機能障害がい者の家族

☒ 3月1日(水)

会・申・ 問 十日町地域振興健
康福祉部地域保健課（☎7
57―2402）

スポーツ

**29年度
学校体育施設開放**

市内小・中学校（指定校）
の体育館やグラウンドなど
を、主に夜の時間帯、スポー
ツ活動のために開放します。
使用には、利用団体の登録が
必要です。施設により利用調
整を行います。

☒ 2月24日(金)

問 スポーツ振興課（☎756
―5013）または川西・
中里・松代・松之山公民館

進し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

新農業委員と最適化推進委員の募集

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員の選出方法が
これまでの公選制から市長による任命制に変更され、農業委員会は
新たに農地利用最適化推進委員を任命することになりました。

現在の農業委員の任期が平成29年7月19日をもって満了となる
ことから、新体制移行にむけて次の委員を応募・公募により募集し
ます。

なお、応募資格・方法・受付期間などの詳細は、今後、市ホーム
ページなどでお知らせします。

【市農業委員：24人】

農地に関する見識を有し、農地等利用最適化の推進に関する事項、
そのほか農業委員会の所掌に属する事項について、その職務を適切
に行うことができる人

【市農地利用最適化推進委員：33人以内】

農地等利用最適化の推進について熱意と見識を有する人
☎ 農業委員会事務局（☎763-2515）

シニアフットサル大会

日 3月12日(日)午前9時〜

会 中里体育館

対 40歳以上で構成されたチー
ム・50歳以上で構成された
チーム

¥ 3千円※参加チーム数によ
り変更することあり

☒ 2月28日(火)
申・ 問 十日町サッカー協会・
関口（☎090―3982
―5576）

**健康と認知症予防のため
のウォーキング講演会**

日 3月11日(土)午前10時〜11時
30分※受付9時30〜

会情報館

講 新潟医療福祉大学職員

内 健康増進や認知症予防に効
果的なウォーキングの方法
など

申・ 問 NPO法人ネージュス
ポーツクラブ（☎752―
4377）

くらし・相談

税務署からのお知らせ

● 申告書は早めに提出を

・ 平成28年分の所得税と復興
特別所得税の確定申告書の
提出期間は、2月16日(木)〜
3月15日(水)です。

・ 消費税と地方消費税の確定
申告書の提出期限は、3月
31日(金)です。

※ 土・日曜日、祝祭日は受付
けしていません

● 復興特別所得税の記載漏れ
にご注意ください

平成25年分から平成49年分
までの各年分は、所得税と併
せて復興特別所得税の申告・
納付をすることとされています。
復興特別所得税の額は、各

インターネットを利用して授
業を行う通信制の大学です。
心理・教育・福祉・経済・歴
史・文学・情報・自然科学な
ど、幅広い分野を学べます。
● 出願期間Ⅱ第1回…2月28
日(火)まで、第2回…3月20
日(春分の日)まで

福祉・健康

赤十字救急法基礎講習会

【夜間講習コース】

日 3月7日(火)・15日(水)午後7
時〜9時

会 分じろう（旧本町分庁舎）
対 15歳以上

¥ 15000円※教材代・保険
料

定 先着30人※3人以下のとき
は中止

内 心肺蘇生法、AEDでの除
細動・気道異物除去など

☒ 2月28日(火)
申・ 問 日赤十日町市地区事務
局（社会福祉協議会内 ☎7
50―5010）

年分の基準所得税に（原則、
その年の所得税額）に2・1
パーセントを掛けた金額で
す。

問 十日町税務署個人課税部門
（☎756―6001）

定期創業相談

中小企業診断士と個別相談
できます。

日 2月15日(水)・3月13日(月)午
前10時〜午後4時※1人1
時間程度

対 市内で創業や新事業の立上
げを予定している人

申・ 問 産業政策課商工振興係
（☎757―3139）

消費生活移動相談室

弁護士による無料の相談会
を開催します。「リフォーム
工事の解約料が高額だ」、「解
体工事を支払ったが工事が
行われない」、「借金の返済に
困っている」などの困りごと
に弁護士が相談に応じます。

日 3月12日(日)午前9時30分〜
午後0時30分

会 分じろう

☒ 3月9日(木)※要予約

申・ 問 十日町市消費生活相談

窓口（☎757―3740）

その請求に困ったら司法書士へ

無料電話相談会を実施しま
す。

日 3月1日(水)〜31日(金)午前10
時〜正午・午後1時〜4時
※ 土・日曜日・祝祭日を除く

内 借金・奨学金・公共料金・
家賃の滞納など金銭債務を
受けている人の電話相談

● 電話相談 025―240
―7974
問 新潟県司法書士会（新潟市・
☎025―244―512
1）

弁護士による無料法律相談

日 3月9日(木)午前10時〜正午

対 商工業者など

内 1件30分程度

会・申 川西商工会（☎768
―2176）※要予約

問 新潟県商工連合会長岡支所
（☎0258―21―068
8）

みんなでつくる医療・福祉フォーラム

～いつまでも自分らしく、ここで暮らすために～

高齢化が進むこの地域で、どうしたら自分らしく暮らし、最期を迎えることができるのでしょ
うか。より良い地域の医療・福祉を目指し、私たちに何ができるのか一緒に考えてみませんか。

日 3月11日(土)午後1時30分〜4時
※受付・健康チェック0時30分〜先着順

会 クロステン

定 200人

内 ● リレートーク

- ・ 講演
「地域住民と新しい地域医療を拓く」
- ・ トーク
～病院・かかりつけ医・訪問看護師・住民・
生活を支える立場から～

● みんなでトーク

～こんな医療・福祉が実現する地域を目指
して、私にできること～

講 吉嶺文俊さん（県立十日町病院長）
井口清太郎さん（新潟大学大学院医歯学総合
研究科地域医療学講座特任教授）

他 フォーラム開会前には血管年齢測定やタオル
絞りでの筋力測定などの健康チェックを受け
ることができます

☒ 3月1日(水)

申・ 問 十日町地域振興局健康福祉部地域保健課
（☎757-2401）詳しくは十日町地域振興局健
康福祉部ホームページ（http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_kenkou/index.html）



日本固有の牛である和牛。勝美さんは市内でただ一軒となった和牛の生産農家です。勝美さんが就農したのは昭和50年。当初は、産まれた子牛を出荷する繁殖農家でした。「子牛は雄より雌が安くて、雌を市場に出しても原価割れすることがあってね。そこで、雌牛に付加価値を付けて売りたいと思って肉用牛を始めたんだ。それでも、規模を増やして軌道に乗せるまでは大変だった。出稼ぎにも行ったよ」

毎日朝夕のエサやりや牛舎の掃除のほか、エサの確保・たい肥の片付けなど、さまざまな作業がある畜産。

「すぐ目に見える形にはならないけど、いろいろな作業をしているんだよ」

現在、勝美さんは、母牛25頭、子牛20頭、出荷のための肥育牛を20頭飼育しています。「肥育牛は雌だけにこだわっている。去勢した雄の方が管理が楽なんだろうけど、雌の方がずっと良い肉ができるよ」

農業研修生を受け入れることもある勝美さん。「今のところ後継者はいないけど、自分のところで研修した若い人たちが、各地で活躍していることがうれしいね」

おひさまのたからばな

— つなぐ知恵と技 —

21 和牛

高橋 勝美さん

(筋平・61歳)

「生き物相手の難しい仕事、こだわりを持って牛と向き合う」



①筋平の共同牛舎。「昔は筋平で6・7人の牛飼いがいたけど、今は自分だけ」②肥育牛のエサは、1日に稲ワラ1～2キロと配合飼料8～10キロ③エサやりと同じく毎日の掃除も欠かせない④ウォーターカップ（給水器）。牛のあごがノブに当たると自動で水が出る仕組み⑤生後月齢で27か月から28か月程度で出荷。「体重は700キロ以上だね」⑥「牛肉の相場は年末の11月から12月が高いから。その時期に出荷できるのが理想なんだ」

筋平集落は、ドキュメンタリー映画「夢は牛のお医者さん」の舞台でもあります。この映画や勝美さんの仕事を通して、畜産のこと、そして、この筋平や北山地区のことを多くの人に知ってほしいと思い取材しました。

地域おこし協力隊
村越 優子さん



取材した人

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係 ☎757-3112まで



このとき 熱中&夢中

市民活動ネットワークひとサボが、旬な人・団体を紹介します。

107

豪雪 JAM 実行委員会

豪雪を生かし故郷を誇れるイベントを

豪雪 JAM は、多くの人を十日町市に呼び、訪れた人にも地元の人にも十日町市を好きになってもらいたいとの思いで平成20年に始まった雪上音楽イベントです。地元の若者有志により始まった唯一無二の雪上フェスは、県外からの来場者やリピーターも増え、「夏の F U J I R O C K」、冬の豪雪 JAM」を目指して全国に発信しています。

◆問合せ：代表・酒井直亮さん、メール：info@gosetsujam.com



豪雪 JAM 2017 は 2 月 19 日(日)、城ヶ丘ピュアランドを会場に午前10時～午後5時の開催です。高校生以下と60歳以上は無料、十日町市・津南町の住民にはチケット割引があります。

現在は30歳代～40歳代を中心とした約70人で活動中。お客さんとして来ていた人が仲間入りするなど、年々メンバーが増えています。イベント当日は駐車場誘導、飲食出店、リユース食器運動、ステージ周りなどの役割を受け持ちます。



会場は、演奏を間近で見られる有料スペースと、チケットがなくても食事や遊びを楽しめる無料スペースがあります。無料スペースには飲食屋台と服・雑貨などの物販屋台が10店舗ずつ並び、毎年3,000人が来場します。



豪雪 JAM 2017 ホームページ

豪雪 JAM が開催されるのは、十日町雪まつり最終日の雪上カーニバル会場。雪の巨大ステージを十日町市への誘客に生かすべく、以前から市内で音楽イベントを手掛けていた仲間が企画提案したことから始まりました。

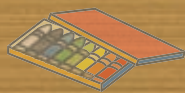
毎年11月になると、時には酒を酌み交わしながら毎週打合せを重ねます。チケット代と約80社の企業からの寄付が運営を支えるため、メンバーそれぞれが広報や営業に奔走します。アーティストとの交渉も、メンバーの人脈や地域外の仲間との繋がりを生かして行きます。

初回から運営に携わり、現在代表を務める酒井直亮さん（本町6の2・40歳）は、「地元企業の協力でここまでやってこられた。準備は本当に大変だけど、お客さんの笑顔を見ることが一番うれしくてやりがいを感じる」と感謝を述べます。

10周年を迎え、今後は地域の冬の遊びや魅力をより体感できる企画を考案中。市民の手により作られる故郷への思いが詰まった雪国のフェスは、ますます発展していきます。

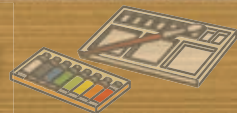
活動を紹介したい団体を募集しています

ひとサボ ☎761-7444



ジュニア芸術祭

東小学校
140



はたけのいもほりをしたときのえです。すばい大きないもがとれたのでうれしかったです。「やったあ」とよろこんでいるほくをかきました。



大きないもがほれたよ

よしはる
佐藤 由治さん (1年)



公園水ぞくかん
小川ひよりさん (2年)



公園に水ぞくかんがあったらいいなと思って作りました。カッターで星がたのまどを切るのがむずかしかったです。まどの中に魚をかいたり、ブランコをつけたりして楽しい作品にしました。



雪の日に作った雪だるま
登坂 美湖さん (3年)



家の庭で雪だるまを作ったときの様子をはん画にしました。雪を青にしたらとてもよくなりました。服や雪だるまのもようも工夫しました。



きょうふのやまんぼ
山田 然太さん (4年)



実際に女の子がびっくりしているように足を曲げたところが、うまくできました。



オカミグーの大切なひみつ
南雲 颯さん (5年)



色ぬりを工夫しました。1つの色にちがう色をまぜて点を置くようにていねいにぬりました。夜空もカラフルな星座をびっしりかきました。



お気に入りの場所
佐藤 空さん (6年)



工夫したところは奥行きです。奥にあるものが小さくなっていくことを、色や大きさで細かく表しました。木の葉っぱは、色を少し変えながらかきました。

